

利根・沼田の教育

発行所 利根教育事務所
 発行人 竹之内 篤
 〒 378-0031 沼田市薄根町 4412 番地
 TEL 0278-23-0165 FAX 0278-23-0180
 E-mail : tonekyou@pref.gunma.lg.jp

総務係 「チーム学校」に係る学校課題解決への取組 ～事務職員特配校の実践～

令和元年度、及び2年度に、みなかみ町立新治中学校に学校事務職員の特配を配置し、「チーム学校」に係る学校課題の解決に向けて取組を進めていただいております。

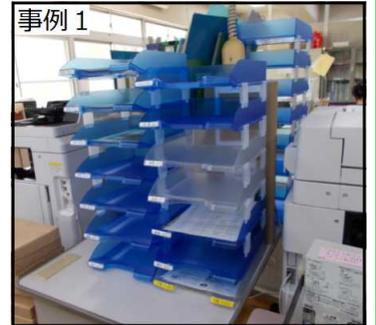
新治中学校の実践事例

新治中学校では令和元年度より、令和4年度に予定されている町内中学校の統合を見据えながら、「チーム学校」に係る学校課題の解決に取り組んでいます。マネジメントの基本としてコミュニケーションを重視しており、日頃から教職員の声を大切にするなど、情報収集しながら、業務改善・システム化・マニュアル化など様々な実践を行っています。

本校では、従来より空き教室が不要物を含む物品の一時保管場所になっており、これに加えて学校統合に向けて物品を整理する必要が生じたことなどから、教育環境・職場環境の整備が課題となっていました。また、教職員の入れ替わりが多く、施設・設備の管理や分掌業務等の引き継ぎに課題がありました。これらの課題の解決に向けて取り組んだ実践について、以下にその事例を紹介します。

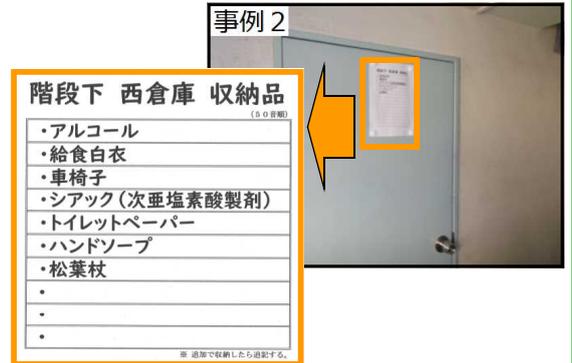
【事例1】教職員への配付棚の設置

まず職場環境の整備から始めました。配付棚を設置することで教職員個々の机上整理に繋がり、また、全ての配付物を1箇所に集約したため、漏れなく、効率よく配付できるようになりました。4月当初は出勤簿の近くに設置しましたが、その後教職員から「職員室内の端に設置してあると反対側の席からは遠くて日中の配付物も見えず不便」という声を聞き、職員室のほぼ中央に移設しました。



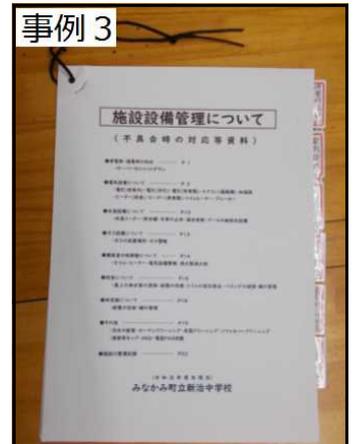
【事例2】倉庫等の整理と収納物表示

校内の倉庫や教材室に置かれた古い物品を整理し、一部の物品については町内の学校や施設に管理換えし、有効活用することができました。廃棄や整理に関しては、学校全体の協力を得るよう計画し、効率よく作業を進めることができました。各箇所を整理した後には、各室の扉に収納物品名を表示し、同時に職員室内の鍵置き場にも同じ表示をすることで、どこに何があるか分かりやすくなり、業務の効率化が図られました。また、日常的に教育環境・職場環境の整備を進めていこうという職員の意識を高めることもできました。



【事例3】施設・設備の管理マニュアル作成

施設・設備に経年劣化等による不具合が生じやすくなっているため、いつでも誰でも対応できるよう、施設・設備管理に係るマニュアルを作成しました。学校事務職員の事務引継の資料を基にして、管理職や関係職員、専門業者と何度も確認や相談を重ね、協力を得ながら、職員用のマニュアルとして整備しました。校内配置図や写真を加えるなど、分かりやすいよう工夫し、また、過去の修繕や施設整備等の記録も掲載することにより、不具合が生じた際に迅速かつ適切に対応することが可能になりました。



【事例4】学年会計事務処理のためのマニュアル作成

会計の「流れ」「注意点」「会計報告」などについてまとめた事務処理マニュアルを整備し、基本のデータファイルを作成してサーバーで管理するようになりました。これにより、誰が担当してもスムーズに学年会計の処理が行えるようになりました。また、集金額や集金方法を、つり銭のない金額で隔月集金に変更したことで、保護者と教職員の負担軽減につながりました。学年会計事務に事務職員が関わることで、教員が子どもと向き合う時間の確保や勤務時間の適正化の一助となっています。

〇おわりに

学校事務職員の特配の配置は2年間のみであるため、一人体制に戻った後もこれらの取組が持続可能なものとなるよう配慮しながら計画するとともに、統合後の中学校においても今回の実践が生かされるよう、共同実施組織や町内中学校と情報を共有しながら、取組を進めてきました。

これからも自校教職員をはじめ、関係機関とのコミュニケーションを重視しつつ、引き続き学校課題の解決に取り組んでいきたいと考えます。

生涯学習係 家庭教育の充実～子どものよさを認め、子どもを伸ばす言葉かけ～

新型コロナの感染防止に伴い、子どもが家庭で過ごす時間が多くなり、生活リズムの乱れが生じ、それを見た親が言葉かけに苦慮しているようです。こうした現状を踏まえ、家庭教育の充実を図るために、子育て講座（社会教育主事等派遣事業）を依頼する学校が増えています。教育事務所では、学校からのニーズの確認や、コロナ禍で研修中止にも対応できるように動画配信を行っています。その中の一部を紹介します。

子どもが宿題をしないでテレビを見ていた場面で…

親の気持ち

帰ったら宿題やってほしい。

ここできちんと叱らなきゃ!

何度言っても変わらないのよね…

テレビ観てるけど、宿題終わってるの!?

あっ! まだやってなかった!!

また? この前もそうだったでしょ! お兄ちゃんはそれぐらいできたわよ!

テレビみたらやろうと思ってたのに…

お父さんが帰ったら怒ってもらうからね。

ええ…お父さんにもおこられるの

子どもの気持ち

とにかくみたい番組 なんだけどな…

ちょっとくらいなら いいかかって思ったのに…

あーあ、 またおこられちゃった…

子どもの気持ちを認める言葉かけ

親の気持ち

帰ったら宿題やってほしい。

①受け止める

今はテレビが観たいんだな。

②自己決定させる

できるかな、心配…でも、ここが我慢なのよね。

③認めてほめる

自分で始められた! がんばれたな。

④主語を私にして提案

習慣になってほしいな。繰り返し見守ろう。

ただいま、宿題は終わってる?

あ! まだやってなかった!

まだやってないのね。どうする?…

うーん、あと5分でおわるからみてからでもいい?

5分観てから、宿題をやるんだね。

～宿題が終わった場面～

よしっ! 宿題おわったぞ!!

5分たったら観るのをやめて、宿題できたね。

お母さんは、帰ってきたらすぐに宿題すると、そのあとゆっくりできるからいいと思うんだけどね。

なるほど、そういうやり方もあるんだね。

子どもの気持ち

とにかくみたい番組 なんだけどな…

自分できめたことだから 守ろう!

テレビみられたし、宿題もおわって うれしいな。

自分できめて きちんとできた!

やってみようかな。

<子育て講座を振り返って>

つい子どもの気持ちを考えずに怒ってしまう時がありましたが、まず「受け止める」「認める」ということを意識していこうと改めて思いました。

<保護者>

分かりやすく説明していただき、勉強になりました。今日の講座は、日々の教育活動の中でも、すぐに役立つことができる内容であり、大変参考になりました。

<管理職>

言葉かけのポイント

- ①「**そうだね**」(子どもの行動をそのまま受け止める)
- ②「**どうする**」(自己決定させる)
- ③「**よくできたね**」(行動できたことを認めてほめる)
- ④「**私だったら～**」(主語を私にして提案する)

教育事務所では子どもを伸ばす言葉かけを、4つのポイントとしてとらえ、講座を実施しています。家庭でも学校でも、このポイントを大切にして子どもに関わることで、自己肯定感や自己有用感が高まると考えます。

<社会教育主事>

「子育て講座」の相談、派遣依頼につきましては、生涯学習係まで御連絡ください。

※「子どもを伸ばす言葉かけ」について、YouTubeチャンネル「tsulunos」にて配信しています。QRコードまたURL(<https://www.youtube.com/watch?v=KTITOCs0RZE&feature=youtu.be>)から閲覧することができます。

